

# しがの里山だより

## 和邇川の水生生物観察会

10月14日(日)午前、「しがの里山や川を美しくする会」主催で和邇川の水生生物観察会が開かれ、好天にも恵まれ親子連れなど約40名の参加がありました。NPOおおつ環境フォーラムや環境カウンセラー協会から計6名の指導者の方々が来られました。当日、和邇公園であいさつと観察会のスケジュールの説明を受けた後、2組に分かれて和邇川の中流区域(上竜華地区)と下流区域(和邇公園前)に入り、1時間、水生生物の観察・採集を行いました。

その後、和邇公民館に集合して採集した生物の種類分けを行い、川の汚れ具合の判定を行いました。

### 下流区域(和邇公園前)

「きれいな水」に棲むサワガニ、ヘビトンボが多数観察されました。

また、「きれいな水～少しよごれた水」に棲むヒゲナガカワトビケラ、シマトビケラのなかまも多く観察され、「少しよごれた水」に棲むコオニヤンマ、スジエビも多数観察されました。なお、1匹ですがゲンジボタルの幼虫も発見されました。

気温; 20.5℃、水温; 17.0℃、  
pH; 8.5、COD; 4ppm



気温; 22℃  
水温; 15℃  
pH; 7.5  
COD; 4ppm

### 中流地区(上竜華地区)

「きれいな水」に棲むカワゲラ、サワガニ、ヘビトンボが観察され、また「きれいな水～少しよごれた水」に棲むヒゲナガカワトビケラ、シマトビケラのなかまが観察されました。

中流地区を流れる水は、下流地区を流れる水に比べて「きれいな水」に棲む水生生物が多い傾向が見られました。

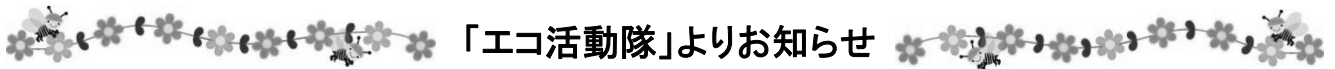
今後も、継続的な観察をしていきたいと思います。

\* pH: 水素イオン濃度(酸・アルカリ性の度合。7付近が中性。  
環境基準は6.5～8.5ppm)

\* COD: 化学的酸素要求量(有機物による汚染度。川の基準値はなし。因みに琵琶湖の環境基準値は1ppm)



和邇公民館での種類分け作業



## 「エコ活動隊」よりお知らせ

「エコ活動隊」とは「しがの会」の中で清掃、コスモス、ほたるのプロジェクトを担当する仲間です。よろしくお願ひします。

メール [sganokai\\_hotaru@yahoo.co.jp](mailto:sganokai_hotaru@yahoo.co.jp)  
ブログ <http://biwako2012.blog.fc2.com/>

# コスモスの散歩道

よし笛グループ「トウキョウ」による  
散策とよし笛コンサート



「しがの会」と北浜在住の杉本さんとがコラボして企画されたコスモス鑑賞イベントが9月29日（土）午後行われました。天気にも恵まれ、参加者は約70名にのぼり、大盛況となりました。

約70名の参加者で大賑わい



喜撰川に集合した参加者はコスモスの散歩道を楽しんだあと、杉本さんの案内で千手観音堂をめくり真光寺まで散策しました。

本堂に入りきれないほどの人数となった真光寺では、ご住職の法話のあと、よし笛のコンサートがありました。童謡からクラシックまでいろいろな曲が演奏され、最後に全員で「琵琶湖周航の歌」を

大合唱し盛り上がりました。

この模様は、6月の植え付けの時と同様今回もパワーアップ探検隊の取材が入り、滋賀ケーブルTVのニュースで放送されました。



## 声

### 和邇川濁流の原因



今年も雨が降ると和邇川に濁流が流れる状態が続いています。雨が降れば川の水は濁りますが、そんなものではなく、やせ谷川（比叡山大霊園横）からの泥水は明らかな人災です。

H.23.4.27に大津市は、西日本開発(株)に対して9,884㎡の残土投棄を許可しましたが、それ以前に30万㎡の残土が投棄されており、(H.23.5.1 和邇学区におけるY社長の発言) その濁流対策が行われない状態で、追加の許可がなされました。新たに許可を

して、適正処理の指導をしていくというのが大津市の言い分でした。和邇公園などは掃除をしても2週間で泥が溜まります。

川の上流のどこかに濁流防止の遊水池を造る等の緊急対策が必要です。

しがの会理事長 山田利春

発行者

しがの里山や川を美しくする会

理事長：山田 利春

<http://www7b.biglobe.ne.jp/toshisyun/>

電話：594-1049